

公ほすぴたる

豊岡病院災害派遣医療チームが 西日本豪雨被災地支援を行いました

——西日本豪雨により被災された皆様に対し、
心よりお見舞い申し上げます——

豊岡病院は、西日本豪雨の被災地を支援するため7月9日（12日）にかけて災害派遣医療チーム（DMAT）1隊（医師2名、看護師2名、業務調整員1名（事務職員）を岡山県倉敷市に派遣しました。倉敷市保健所を活動拠点本部とし、避難所や自主避難所でのスクリーニング、本部で避難者情報の聴取・取りまとめ等を行いました。



DMATとは

「災害急性期に活動できる機動性を持った、トレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）の頭文字をとって略してDMAT（ディーマット）と呼ばれています。

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

P2-3 出石医療センターの今

P4 公立豊岡病院は「地域医療支援病院」の承認に向けて準備を進めています / 議会7月定例会が開催されました

P5 平成29年度決算の概要をお知らせします

P6 医療ミニ講座 乳がんのQ&A

P7 家庭でできる運動 ー第21回ー 転倒予防にむけた体作り / 日高医療センターの看護師の仕事 / 医師異動のお知らせ

P8 Information&News / 第6回豊岡病院祭のお知らせ

出石病院2018

院長

西岡 顯



昨年この誌上で、但馬の病院に定着医の必要性とそのための方策について、議員の方々とやり取りをご紹介いたしました。市議会でも取り上げていただき、嬉しい限りです。さて、今年の出石病院は…

地域包括ケア病床増床

退院後、家に帰る予定の患者さんを支援する病床です。退院までの準備に時間がかかる方、リハビリに励む方のために用意しています。豊岡病院からの紹介も多く、昨年からは一般病床の一部をこれに移し、合計18床にしました。

出前講座の前進

当院の職員が地域に出向いて、腰痛や膝痛への対処法やいろいろな食事療法、お薬の飲み方、病気への取り組み方などをお話ししたり、逆に参加者からの質問をお聞きして、私たちの学びの場にしようとしています。昨年は、健康福祉センターで行

いましたが、今年は10月に地域の集会所で行う予定です。

勤務間インターバル

昨年、時間外に当院を受診された患者さんは440人と、以前よりも減りました。とはいえ、常勤医は3名のみであり、一人当たりの当直回数は年間70回以上と変わっていません。翌日には、いつもの業務が待っているという状況も同じです。このため、医師の健康と医療の安全の点から、当直した翌日は、業務への影響に配慮しながらも1時間（以上の）の休養をとってよいと決めました。皆さん方のご理解が得られることを願っています。

地域スタッフとのつながり

地元医師会の定例会は、従来より当院で開かれております。また、院内勉強会には介護職員の方をお呼びしています。患者さんが退院された後には、福祉関係の方々にお世話になることが多いので、地域の様々な職種の方との事例検討会を開き、相互交流を図っています。このように、患者さんにとって、病院での医療と地域での生活がうまく結びついていくようにと活動しています。

その他、私たちが取り組んでいることを以下にご紹介しましょう。

禁煙外来での看護師の仕事

禁煙外来看護師

禁煙外来での看護師は、医師の補助を行いながら、問診、一酸化炭素濃度測定、バイタル測定、禁煙補助薬の説明、生活習慣等のアドバイス、患者さんの精神的なケアを行っています。

禁煙をすることによる患者さんのストレスは大きいと思いますが、患者さんが禁煙に成功できるよう、個々の患者さんと向き合い細かなサポートを行っています。

禁煙をすると時間の経過と共に以下のような効果が現れます。

1. 血圧や脈拍が正常化し、血液の流れがスムーズになり、心臓発作の危険率が低下します。
2. 体内から一酸化炭素が除去され、肺の汚れが消え始めます。
3. 体内のニコチン濃度がゼロになります。
4. 痰や咳が少なくなり、深呼吸が楽になります。
5. 肺がんになる危険率が喫煙者に比べ低下します。



患者さんが禁煙外来にスケジュール通りに通院し、禁煙を達成できるよう、サポートします。禁煙はいつから実行しても絶対にあなたの健康をプラスの方向に導いてくれます。悩んでいる方、もう手遅れだと考えている方、是非、チャレンジしてみませんか？

～禁煙外来で禁煙にチャレンジしませんか～

内科 伊藤 誠二

世界的な禁煙の潮流の中で、我が国においても公共の場での禁煙が普及し、職場でも禁煙や分煙が要求されてきています。

出石医療センターでも2017年10月より禁煙外来を開設して、積極的にたばこ対策に取り組んでおります。現在喫煙中の方でも、禁煙に関心をお持ちになることは大変素晴らしいことです。あなたの禁煙が成功、継続できるように当院も応援させていただきます。

「禁煙治療プログラム」は3カ月（5回受診）の中で内服薬または貼付薬を使用しながら禁煙が成功するように支援するものです。禁煙治療は2006年度から保険診療の対象になっておりますので、外来にてご相談ください。3カ月の治療で約13,000円～20,000円（自己負担3割の方）程度の費用です。

禁煙外来を上手に利用して、ぜひ禁煙を達成しましょう。

退院への一步は入院中から

看護部

患者さんが退院後も安心して生活するために、医師や看護師、いろんな職種のスタッフの方と連携を図り、退院支援を行っています。

退院前カンファレンスでは、退院後の生活に介護保険などのサービスや、訪問看護など在宅療養支援が必要となる場合には、ケアマネージャーや訪問看護師の方と話し合いの場を設け退院調整にあたっています。

また、当医療センターでは、昨年より退院後訪問指導を開始しています。退院後訪問指導とは、看護師が退院後に患者さん宅に伺い、在宅での療養生活に対して患者さんやご家族の不安なことや困っていること等の相談、指導を行います。今後も退院後訪問指導を継続し、安心・安全な在宅療養を支援できるように取り組んでいきたいと考えております。

退院後訪問指導の流れを紹介します。

1. 退院後に在宅療養上指導を行うことが必要な場合、ご家族と病院の方で退院後の指導日を計画します。
2. 退院後、病棟看護師が計画日に訪問し、在宅で指導・確認を行います。
3. 必要時は適切な在宅サービスへの引継ぎや情報交換を行います。
4. 退院後1か月以内に5回までは訪問できます。
5. 訪問看護師と同行するときは、日程調整します。

ご心配なこと、何でも相談して下さい。



薬剤科

薬剤科では入院時に患者さんのお薬を全て確認させて頂き、薬の飲み合わせ等を調べたり当院の薬と照らし合わせたりして、より良い状態で入院中も服薬して頂けるようにしています。

入院中は薬剤師が直接お昼の薬をお配りしたりお薬の説明に伺ったりしています。お薬についてわからないことがあれば気軽に尋ねてください。

退院に向けては、飲みにくいお薬が無いか飲み忘れやすい薬はないかなど退院後も確実に薬が飲めるようお手伝いしています。また、退院後は調剤薬局に引き継がれるようお薬手帳にも記入していますので是非お持ちください。



リハビリテーション科

自宅に退院される予定の患者さんには、退院前訪問指導を実施し、入院中に自宅を訪問し手すりの設置や段差の解消などの住宅改修をアドバイスし、退院に向けて環境設定（準備）を行います。退院後は円滑に自宅生活が送れるよう訪問リハビリを実施し、身体機能の維持や生活に即した動作練習を行います。自宅生活を安全に送れるようになれば、リハビリは終了します。



糖尿病教室のお知らせ

今年度も、出石医療センターに通院されている方とご家族を対象に、糖尿病教室を開催いたします。教室と言っても授業のような雰囲気ではなく、一緒に昼食を食べながら食生活を振り返って頂いたり、運動や薬、生活面の事について専門スタッフに気軽に相談できる場を設けています。

この機会を皆様の療養生活に活用して頂ければ幸いです。

日時	9/4(火) 10/2(火) 11/6(火) それぞれ 11:50~13:00 (受付は11:30~)
予約	開催1週間前までに外来診察室にてお申込み下さい (キャンセルの場合は早めの連絡をお願いいたします)
対象者	出石医療センターを受診されている方 (ご家族と一緒に参加もOK)
場所	出石医療センター 2階レストラン
費用	お食事代 500円と指導料 (3割負担の方なら240円) (但し、11/6に限り宅配弁当の試食会の為、お食事代は50円となります)



公立豊岡病院は「地域医療支援病院」の承認に向けて準備を進めています

1. 地域医療支援病院の概要

地域医療支援病院は、地域の病院や診療所等がそれぞれの特徴・機能により役割分担と連携を図り、地域全体で効率的な医療提供体制を構築する「地域完結型医療」が推進される中において、紹介された患者や救急患者へ医療を提供するとともに、地域の医療機関に対し医療機器の共同利用や医療従事者に対する研修を行うなどの役割を担う病院です。

現在、豊岡病院は、この地域医療支援病院の承認に向けて兵庫県に申請を行っています。

2. 非紹介患者初診加算料・再診加算料

地域医療支援病院に承認されると、法令等により紹介状を持たずに初診で外来受診される方は、下表のとおり加算料をご負担いただくこととなります。

つきましては、初診で受診される際は、出来る限り紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。なお、紹介状がなくても加算料をご負担いただく必要のない場合もありますので、ご不明な点があれば下記へお問い合わせください。

内 容	金 額
非紹介患者初診加算料 他の医療機関からの紹介状なく当院を初診で受診された場合。 ただし、 <u>以下の方は紹介状をお持ちでない場合でも初診加算料をご負担いただく必要はありません。</u> ① 救急の患者（緊急性のある場合に限る） ② 診療科に関わらず1年以内（医科・歯科は別）に当院を受診されたことのある方 ③ 近隣の医療機関には無い診療科を当院で受診される方（産婦人科・泌尿器科など） ④ 公費負担医療の対象者（生活保護・母子保護など）等	医科 5,000円 歯科 3,000円
再診加算料【新設】 他の医療機関へ紹介したにも関わらず、自己判断で当院を継続して再診受診された場合。	医科 2,500円 歯科 1,500円 ※再診1回受診につき

〔参考〕 現行の非紹介患者初診加算料は、2,160円（構成市外の住民は2,805円）です。

3. 運用開始時期

豊岡病院が地域医療支援病院に承認された場合、上記運用は本年10月1日より適用されることとなります。

※今後、地域医療支援病院の承認等については、ホームページ等でお知らせいたします。

お問合せ 公立豊岡病院 医事企画課
☎ (0796) 22-6111 (代表)

平成30年第2回公立豊岡病院組合議会7月定例会が開催されました

平成30年7月6日から8月8日まで開催された、公立豊岡病院組合議会の議案と結果についてお知らせします。

件名	提出年月日	結果
報告第1号 平成29年度公立豊岡病院組合事業会計予算の繰越しについて	H30.7.6	了承 H30.8.8
報告第2号 平成29年度決算に係る資金不足比率の報告について	H30.7.6	了承 H30.8.8
議案第8号 公立豊岡病院組合使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について	H30.7.6	原案可決 H30.8.8
議案第9号 平成29年度公立豊岡病院組合事業決算の認定について	H30.7.6	認定 H30.8.8

議会は一般の方も傍聴できます。 **問合せ** 公立豊岡病院組合議会・監査事務局 TEL：0796-22-6111 (内線2021)

平成29年度決算の概要をお知らせします

I 全体の決算状況

(単位：百万円)

	全体			増減 (対H28)
	H27年度	H28年度	H29年度	
1 純損益 (収益－費用)	△788	△1,318	△1,099	219
(1) 病院事業収益	19,499	20,002	20,352	350
入院・外来収益	15,928	16,338	16,565	227
負担金交付金・補助金等	2,875	2,920	3,040	120
その他	696	744	747	3
(2) 病院事業費用	20,287	21,320	21,451	131
給与費	10,387	10,969	11,175	206
材料費	4,293	4,475	4,538	63
経費	2,547	2,560	2,587	27
減価償却費	1,409	1,728	1,723	△5
その他	1,651	1,588	1,428	△160
2 建設改良費 (資本的支出)	6,497	1,116	2,242	1,126
3 構成市負担金 (分賦金)	2,604	2,673	2,734	61
4 内部留保資金	1,450	797	322	△475

1 純損益 (収益－費用) は、前年度よりも219百万円改善しましたが、依然1,099百万円の大幅な赤字となっています。(1) 収益では、入院・外来収益が227百万円増加するとともに、豊岡市・朝来市からの負担金等が120百万円増加したこと等により、350百万円増加しました。他方、(2) 費用では、退職給付引当金の増加や医薬収益に連動した材料費の増加等により、131百万円増加しました。

2 建設改良費では、2,242百万円の投資を行いました。豊岡病院では、電子カルテやMRI等の更新や、北近畿で初となる手術支援ロボット(324百万円)の新規導入を図りました。

3 構成市からの病院運営に対する負担金は、前年度から61百万円増加の2,734百万円となりました。

4 内部留保資金は、純損失の大幅赤字等により、前年度より475百万円減少し、322百万円まで低下しました。この水準は、昭和55年度以降最低となっています。

II 病院別の患者数と決算状況

(単位：項目欄参照)

病院	項目		H28年度	H29年度	増減	備考
豊岡	患者数	入院 (人/日)	443	460	17	【患者数】 入院では、救急科・精神科・緩和ケア内科等において増加しました。外来では、呼吸器内科・循環器内科・小児科等で増加する一方、産婦人科等で減少しました。
		外来 (人/日)	976	980	4	
	収益	入院 (百万円)	9,205	9,680	475	【収益】 入院収益が大幅に増収(+475百万円)となるとともに、構成市負担金において集中治療室運営経費が新規算入されたこと等により増収(+188百万円)となりました。 【純損益】 前年度より389百万円と大幅に改善したものの、依然156百万円の赤字となりました。
		外来 (百万円)	3,525	3,618	93	
		構成市負担金 (百万円)	1,767	1,955	188	
	純損益 (百万円)	△545	△156	389		
日高	患者数	入院 (人/日)	50	25	△25	【患者数】 医師体制の縮小に伴い、29年9月から療養病棟を閉鎖し1病棟体制としました。この結果、入院患者数が半減するとともに、外来患者数も減少しました。
		外来 (人/日)	298	275	△23	
	収益	入院 (百万円)	702	394	△308	【収益】 入院収益が眼科(△192百万円)と療養病棟(△96百万円)において減収になるとともに、外来収益では眼科(△40百万円)と内科(△11百万円)が減収となりました。 【純損益】 前年度より125百万円の大幅悪化となり、324百万円の赤字となりました。
		外来 (百万円)	1,113	1,062	△51	
		構成市負担金 (百万円)	225	230	5	
	純損益 (百万円)	△199	△324	△125		
出石	患者数	入院 (人/日)	29	33	4	【患者数】 入院では、28年11月から運用を開始している地域包括ケア病床を10床から18床へ拡大したこと等により増加しました。他方、外来では、内科・外科・整形外科のいずれも減少しました。
		外来 (人/日)	75	70	△5	
	収益	入院 (百万円)	282	329	47	【収益】 入院収益において、診療単価の高い地域包括ケア病床の患者数が増加したことにより増収(+47百万円)となりました。 【純損益】 前年度より23百万円改善し、組合内病院で唯一の黒字となりました。
		外来 (百万円)	144	134	△10	
		構成市負担金 (百万円)	278	255	△23	
	純損益 (百万円)	△14	9	23		
朝来	患者数	入院 (人/日)	98	91	△7	【患者数】 入院では、外科・整形外科において患者数が減少しました。なお、29年10月から療養病棟の中に地域包括ケア病床22床を設置し、リハビリ機能を強化するなど回復期医療の充実を図りました。外来では、整形外科と内科において患者数が増加しました。
		外来 (人/日)	229	242	13	
	収益	入院 (百万円)	961	935	△26	【収益】 地域包括ケア病床の導入により療養病棟で入院収益が増収となったものの、内科・外科・整形外科のいずれにおいても減収となりました。また、構成市負担金では、不採算地区病院に対する繰入が減少したことなどにより減収(△109百万円)となりました。 【純損失】 前年度より68百万円悪化し、628百万円の大幅な赤字となりました。
		外来 (百万円)	411	418	7	
		構成市負担金 (百万円)	403	294	△109	
	純損益 (百万円)	△560	△628	△68		

医療ミニ講座
**乳がんの
 Q&A**



公立豊岡病院
 乳腺外科
福井由紀子

乳腺外科の先生方 この似顔絵は福井作



水田先生



遠藤先生



福井

乳がんは、女性では最も多いがんです。メディアでも注目され、さまざまな情報が流れています。今回は、診察の際によくいただくご質問にお答えします。

Q. 80歳を超えても乳がんになりますか？
 A. 高齢の方でも乳がんになる可能性はあります。ちなみに、乳がんが見つかる一番多い年代は40代後半から50代前半です。

Q. 乳房に痛みがあります。乳がんでしょうか？
 A. 基本的にがんというの痛くもかゆくもありません。いつの間にかできて、いつの間にか大きくなっているというのが、がんのやっかいな性質です。ですから「乳房が痛い＝乳がん」というわけではありません。乳房に痛みを感じる原因の多くは、女性ホルモンバランスの影響です。その他に肋間

神経（肋骨の間にある神経）による痛み、乳房近くの筋肉による痛みなどの原因があります。ちなみに、乳がんの自覚症状でもっとも多いのは「しこり」に触れることです。

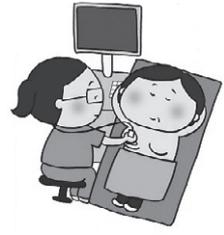
Q. 乳がん検診で異常が見つかりました。乳がんということですか？

A. 乳がん検診で精密検査が必要と判断された方のうち、本当に乳がんだった方は実は少ないです。統計によると、乳がん検診で要精査となるのは13人中1人、そのうち本当に乳がんの人は25人中1人です。

とはいえ、検診で乳がんを早期に見つけることができた方はもちろんおられます。検診年齢（40歳以上）になれば検診を受け、精密検査が必要と判断された場合は医療機関を受診してください。



マンモグラフィ



超音波

Q. 男性でも乳がんになりますか？
 A. 乳がんは女性だけの病気ではありません。乳がんの患者さんのうち200人に1人は男性です。

胸に症状のある方、検診で精密検査が必要と判断された方は、気軽に乳腺外科を受診してください。

家庭でできる運動

— 第21回 —

転倒予防にむけた体作り

公立豊岡病院

認定理学療法士
(運動器)

福富 広海



転倒による骨折は多くの場合何らかの後遺症が残ります。QOL（生活の質）を低下させる原因となります。転倒の原因には段差・敷居など環境の問題、注意・判断能力など認知（脳）機能の問題、筋力・バランスなど身体機能の問題があります。今回は特に身体機能に着目してお話しします。

「躓かない人はいない？」

転ばない人は躓かない人でしょうか？多くの方が経験されていると思いますが、その日の体調や地面の状態または考え事をしていて最中など、いくら若く健康な体の方でも躓きます。しかしそこで転ばない人は、躓いてもしつかり次の足が前に出て、体勢を立て直す事ができます。これが次にあげる転倒予防の重要な要素になります。

転倒予防に必要な身体機能の要素

①歩行中、体を直立（まっすぐ）に保つ事

ができる

②強いふくらはぎ

③股関節が柔らかい（特に後ろ向き）

壁に向かって背伸びの体操 ①②

壁に軽く手をあて、踵の上げ下げ。特に降りる際、ゆっくりと降りることを意識します。



10回×2セット

股関節のストレッチ ③

同じ姿勢で片足を後ろに下げ、下げた足の股関節に心地よく張りを感ずるところでストレッチ。



片足20～30秒ずつ

※どちらの図のように体をまっすぐにして、壁と体の平行を保つ事が重要です。初めて行う際はご家族の方に見てもらい、姿勢を直しながら行って下さい。

モデル：認定理学療法士（呼吸） 山田和希

日高医療センターの看護師の仕事

日高医療センター 看護師

看護師は、治療を受けながら生活する患者さんの援助を行うのが主な仕事です。

専門的な知識と技術で、診療の介助や患者さんの身体と心の両面をサポートし、よりよい療養環境をつくりまします。

日高医療センターでは、「住み慣れた地域・自宅で、その人らしく暮らしてもらうこと」を目指し、外来・透析では、生活習慣病予防・治療の説明や指導、高血圧・糖尿病教室の開催、合併症予防のためのケア（フットケアなど）に力を入れています。入院病棟では、治療効果をあげるだけではなく、患者さんやご家族と共に、退院後の生活を考えながらケアを行い、入院前の暮らしに戻れるよう援助しています。4月から訪問看護を始め、外来、入院、訪問と看護をつなぎ、「自宅での暮らし」を支えています。



医師異動のお知らせ

H30.6.2～H30.8.1

新任医師



豊岡 歯科口腔外科
西村 隆克
専門：歯科口腔外科全般

退職医師

お世話になりました。

豊岡 精神科	部長	吉岡 隆一
豊岡 歯科口腔外科	医長	吉田 剛
豊岡 総合診療科	医員	島 かさ音

スタッフ用ジャンパーを 寄贈頂きました

豊岡ライオンズクラブ様より救命救急センターのスタッフ用ジャンパー30着の寄付を賜りました。

ご厚意に対し、平成30年6月28日、病院長より豊岡ライオンズクラブ様へ感謝状を贈呈いたしました。

頂きました寄付は、救急救命活動の充実のために有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



高校出前講座を開催しています！

高校出前講座は看護師等の医療職を目指す高校生への「出張ガイダンス」です。学生と病院スタッフが直接意見交換することにより、学生の進学意欲の醸成を図るとともに、将来の医療スタッフの確保を目指しています。



豊岡病院 歯科口腔外科部長 田中太邦医師が ベストドクターズに選出されました

歯科口腔外科部長 田中太邦医師が、米国ベストドクターズ社から、医師同士の評価によって選ばれる“The Best Doctors in Japan 2018-2019”に選出されました。ベストドクターズ社の名医選出方法は、多数の医師に対して「もし、あなたやあなたのご家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか」というアンケートを行い、そのなかで、治療能力、研究成果、最新医療情報への精通度などを考慮した上で、一定以上の評価を得た医師を名医（Best Doctors）として認定するというものです。



第6回

豊岡病院祭

日時：2018年9月29日(土) 9時～14時
会場：豊岡病院 中央待合ホール他

病院でしか体験できない催しを多数企画しております。皆様のご来院お待ちしております。

●病院のことを楽しく学ぼう！！

- 人工心肺装置模擬体験
 - 心臓カテーテル治療模擬体験
 - 調剤体験
 - バランス評価体験
- ほか、各種体験コーナー

●食欲の秋を満喫しよう！！

- 焼きちくわ
- 大阪風とんべい焼き
- 綿菓子 など

●ステージで盛り上がりよう！！

- HIP-HOPダンス
- 空手演舞
- フラダンス
- 吹奏楽演奏
- バルーンアートショーなど

●市民公開講座 13時～

演題：「**心臓血管の手術と高血圧**」
講師：公立豊岡病院 副院長兼
胸部・心臓血管外科部長
那須通寛

会場：講堂／参加費：無料

健康に役立つ知識が得られる講演です。ぜひご参加ください。

主催：公立豊岡病院 TEL：0796-22-6111(代表)

